

報道関係各位
企画展のご案内

NAKAMURA UTAEMON

ようこそ、
歌舞伎の国へ

観覧料 一般入場券(税込) 1,800円(税別) 1,600円
 六十五歳以上・高校生・大学生(税込) 1,200円(税別) 1,000円
 中学生以下(税込) 700円(税別) 600円
 障害者手帳をお持ちの方(税込) 500円(税別) 400円
 (但し大学生以下は有料券)(注) 1歳以上2歳未満の幼児料金は
 観覧料(半額) (税込) 400円(税別) 300円
 (注) 2歳以上の幼児料金は
 観覧料(半額) (税込) 400円(税別) 300円
 観覧券入場券 ミニシアターは17時30分まで
 休館日 毎月第2日曜日(但し、2月24日は閉館し、翌日休館)

2020
1.18 SAT
~ 4.5 SUN

六世
中村
歌右衛門
展

主催 公益財団法人せなかや文化財団 世田谷文学館
 監修 坂野正一
 協力 株式会社 早稲田大学 内博士記念演劇博物館
 協賛 財団法人松竹大空園書館 公益財団法人 株式会社 ウチナ
 協賛 世田谷区 世田谷区教育委員会

世田谷文学館

SETAGAYA BUNGAKUKAN

メインビジュアル

広報に関するお問い合わせ：世田谷文学館学芸部 佐野、原
 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10
 TEL 03-5374-9111/FAX 03-5374-9120

—花と夢をわすれぬこと—

六世 中村歌右衛門展

概要 ようこそ、歌舞伎の国へ

歌舞伎はわが国が世界に誇る総合芸術にしてエンターテインメントです。400年間にわたって芸を継承し様式美を追究する一方で、戦略的に他ジャンルとのコラボレーションや最先端のテクノロジーも取り入れながら時代に合わせた進化を続け、活況を呈しています。

世田谷・岡本を終の棲家にした六世中村歌右衛門（1917～2001）は、五世の次男として生まれ、女方ひと筋に歩みました。戦後、苦境に陥った歌舞伎を建て直し、海外公演や新たな演目にも挑戦し、その艶麗で品格ある芸風は日本のみならず世界も魅了しました。昭和から平成にかけて歌舞伎界を名実ともに牽引し、現在の隆盛へと導いた一人です。

本展では「京鹿子娘道成寺」「隅田川」「伽羅先代萩」「助六由縁江戸桜」「壇浦兜軍記」など、当たり役と言われた名作とともにその役作りを紹介、海外公演の足跡などもあわせて展覧し、不世出の女方の人と芸に迫ります。



琴 三味線 胡弓 「壇浦兜軍記」〈阿古屋の琴責め〉
で歌右衛門が使用した楽器
早稲田大学坪内博士記念演劇博物館蔵

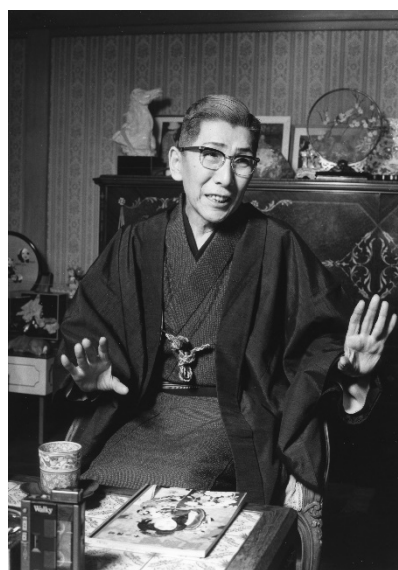
【みどころ】

- 舞台で使用した衣裳（「助六」^{うちかけ} 袴襦、「道成寺」袴襦）や、小道具（「阿古屋」三曲、「先代萩」政岡の^{はこせこ} 笥迫）、台本、絵看板
 - 代表作 12 作品を本人の芸談をまじえて詳しく紹介
 - 遺愛の美術品、自筆の絵画等
 - 交流のあった三島由紀夫ら作家たちの自筆原稿
- ※一部出品資料の展示替えがあります。

プロフィール

六世中村歌右衛門（なかむら・うたえもん）

本名・河村藤雄。屋号・成駒屋。^{なりこまや}1917年、五世中村歌右衛門の次男として東京に生まれる。誕生間もなく左足の脱臼で2回の大手術を受ける。22年三世中村児太郎を名乗り初舞台。33年六世中村福助を襲名、以後女方専門となる。41年六世中村芝翫（しかん）を襲名。51年、再建間もない歌舞伎座で六世中村歌右衛門を襲名する。研究会「^{つばみかい}蒼会」を主宰し、古典の復活や、新作にも取り組んだ。60年には歌舞伎初のアメリカ公演に参加、世界各国で海外公演を行った。64年最年少で芸術院会員に、68年重要無形文化財保持者（人間国宝）に、79年文化勲章を受章。戦後歌舞伎を代表する名優として活躍した。2001年3月31日、世田谷岡本の自宅で逝去。



世田谷・岡本の家で 撮影：渡辺文雄

イベント

■オープニング記念講演会 「歌右衛門の玉手御前」

六世中村歌右衛門の当たり役「せっしゃうがっぽうがつじ たまたごぜん 摄州 合邦 辻」玉手御前を通して、谷崎潤一郎や折口信夫の論考に触れながら、歌右衛門の歴史的な位置を解明します。

講師：渡辺保（演劇評論家）

開催日：2020年1月19日（日）14：00～15：30

定員：150人 参加費：1000円（展覧会観覧料含む）

申し込み方法：完全前売制/ローソンチケット

12月26日（木）10：00より販売。

Lコード:35474 ※ローソンチケット（全国ローソン、ミニストップ）にてチケットを販売します。

<https://l-tike.com/> TEL0570-000-777

■「歌舞伎座ギャラリー」見学会

歌舞伎座タワー5階「歌舞伎座ギャラリー」で歌舞伎について学びます。3分間の歌舞伎鑑賞付き。

開催日：2020年2月12日（水）13：30～15：00（予定）

定員：抽選20人 参加費：900円（保険料含む）

申し込み方法：メール本文に①イベント名「歌舞伎座ギャラリー見学会」②参加者名（2名まで）③連絡先電話番号を明記の上、件名「歌舞伎座見学申込」として、イベント専用Eメールアドレス（event@setabun.net）まで。自動返答メールが届かない場合は、当館まで電話にてお問い合わせください。 申込締切：1月31日（金）

■「松竹歌舞伎屋本舗」がやってくる！

期間中、ミュージアムショップにて歌舞伎座で人気のお菓子や関連グッズを販売します。

2月1日（土）から2月16日（日）まで開運の小槌や名前札の口上つき実演販売も実施します。（ミュージアムショップの利用は10：00～17：30まで）



■記念講演会 「父・六世中村歌右衛門を語る」

出演：中村梅玉（歌舞伎俳優） 聞き手：岡崎哲也（松竹株式会社常務取締役）

開催日：2020年3月15日（日）16：00～17：00

定員：150人 参加費：1000円（展覧会観覧料含む）

申し込み方法：完全前売制/ローソンチケット 2月4日（火）10：00より販売。

Lコード:32327 ※ローソンチケット（全国ローソン、ミニストップ）にてチケットを販売します。

<https://l-tike.com/> TEL0570-000-777



「本朝廿四孝」八重垣姫
(1963年3月歌舞伎座)
プロマイド



鳥居忠雅画看板
「妹背山婦女庭訓」お三輪 (右)
「京鹿子娘道成寺」花子 (左)
歌右衛門襲名披露興行時のもの
早稲田大学坪内博士記念演劇博物館蔵



エッフェル塔を背景にした
「隅田川」公演の電光ポスター (1990年)
撮影：岡崎哲也

展覧会図録

- ・長男、中村梅玉氏のロングインタビュー
- ・写真でたどる名舞台
- ・豪華執筆陣による寄稿 等々

96 頁 (カラー・モノクロ) 定価 1300 円 (税込) 発行：世田谷文学館

タイトル	六世 中村歌右衛門展
会期	2020年1月18日(土)～4月5日(日)
会場	世田谷文学館 2階展示室 (東京都世田谷区南烏山1-10-10)
休館日	毎週月曜日 (但し月曜が祝日の場合は開館し、翌平日休館)
開館時間	10:00～18:00 (展覧会入場、ミュージアムショップは17:30まで)
入場料	一般800円、高校・大学・65歳以上600円、中学生以下300円 (団体割引あり)
主催	公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館
監修	児玉竜一 (早稲田大学文学部教授・早稲田大学坪内博士記念演劇博物館副館長)
協力	松竹株式会社、早稲田大学坪内博士記念演劇博物館、 公益財団法人松竹大谷図書館
賛助	東邦ホールディングス株式会社、株式会社ウテナ
後援	世田谷区、世田谷区教育委員会

【連絡先】 世田谷文学館 学芸部

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10

TEL 03-5374-9112 FAX 03-5374-9120

世田谷文学館 2019年度コレクション展後期

「新青年」と世田谷ゆかりの作家たち

概要

第1次世界大戦後の世界情勢と経済状況がめまぐるしく動く大正9(1920)年1月、雑誌「新青年」は発刊されました。これからの未来を築いていく青年をターゲットとした雑誌は、都市文化とモダニズムを取り入れ、形成しながら、日本文学史においてかかせない存在へと変化していきました。青年たちの海外進出を謳った「新青年」は、海外ミステリーの紹介で人気を呼び、やがて、ミステリーにかかわらず多彩なジャンルの先駆者たちを次々と輩出していきます。「新青年」の影響は、現在のミステリーやSF小説にも及んでいます。

本展では、戦後一大ブームとなった横溝正史をはじめ、日本推理小説〈三大奇書〉のひとつ『黒死館殺人事件』を書いた小栗虫太郎、日本SF小説の父・海野十三といった「新青年」の全盛期を支えた世田谷ゆかりの作家たちを中心に、当館収蔵のコレクションをお目にかけます。

展覧会名 「新青年」と世田谷ゆかりの作家たち

会 期 2019年10月12日(土)～2020年4月5日(日) *会期中一部展示替えあり

会 場 世田谷文学館 1階展示室 157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10
TEL03-5374-9111 FAX 03-5374-9120 www.setabun.or.jp

開館時間 10:00～18:00(展覧会入場、ミュージアムショップの営業は17:30まで)

休 館 日 毎週月曜日(但し月曜が祝日の場合は開館し、翌平日休館)

交通案内 京王線:「芦花公園」駅南口より徒歩5分

小田急線:「千歳船橋」駅より京王バス(千歳烏山駅行)利用「芦花恒春園」下車徒歩5分

観 覧 料 一般200(100)円、高校・大学生150(120)円、65歳以上・小・中学生100(80)円、
障害者手帳をお持ちの方100(80)円(但し大学生以下は無料)

※()内は20名以上の団体料金 ※土・日曜、祝日は、中学生以下無料

主 催 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館

後 援 世田谷区、世田谷区教育委員会



横溝正史肖像



「新青年」(博文館刊)



「新青年」
昭和5年10月増大号
(博文館刊)



横溝正史「鬼火」挿絵
画・竹中英太郎
「新青年」
昭和10年2月号 掲載

六世 中村歌右衛門展 + コレクション展後期 広報用画像貸出申込書

世田谷文学館学芸部 佐野、原 行

FAX/ 03-5374-9120

Email/ webmaster@setabun.net

展覧会広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は下記貸出条件をご確認のうえ、本申込書に必要事項をご記入いただき、ファックスまたはEメールにてお申し込みください。Eメール添付にてJPEGデータで画像をお送りいたします。

なお、本展紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正紙をお送りください。また、発行後、掲載誌を1部お送りください。

【広報用画像貸出条件】

- ◆画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ◆画像のトリミング、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◆画像データは、ご使用后必ず消去してください。又、データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◆インターネット上で掲載する場合、画像をコピーできないよう処置し会期終了後はWEBサイトから削除してください。

雑誌名・番組名・WEBサイト名 : _____

媒体種別 : 新聞・雑誌・フリーペーパー・テレビ・ラジオ・WEBサイト _____

発売・放送・更新予定日 : _____

御社名 : _____ 御担当者名 : _____

御住所 : _____

Eメールアドレス : _____

電話番号 : _____ FAX番号 : _____

◎画像 (コピーライトクレジットがあるものは、必ず画像掲載時に付記してください)

〈六世 中村歌右衛門展〉

- メインビジュアル ©松竹株式会社
- 世田谷・岡本の家で 撮影:渡辺文雄
- 「本朝廿四孝」八重垣姫(1963年3月歌舞伎座) プロマイド
- エッフェル塔を背景にした「隅田川」公演の電光ポスター(1990年) 撮影:岡崎哲也

〈「新青年」と世田谷ゆかりの作家たち〉 ※p.5 参照

- 横溝正史肖像
- 「新青年」(博文館刊)
- 「新青年」昭和5年10月号(博文館刊)
- 横溝正史「鬼火」挿絵 画・竹中英太郎